

2010.10.10(日)～11(月) 10日曇り、11日快晴	紅葉の焼岳 (2,444m) 乗鞍岳 (3,026m)	(574) S/O 同行者 4名
------------------------------------	--------------------------------	---------------------

行程
10日 新津 3:30＝中の湯登山口 8:30、8:45～下堀沢出合 10:40～南峰 11:30～北峰 11:50～昼食～中の湯登山口 15:50
11日 宿 7:30＝豊平 10:10、10:20～摩利支天岳 11:05～肩の小屋 11:50～乗鞍岳山頂 13:10,13:50～豊平 15:20＝乗鞍高原駅 16:40＝新津 23:00

朝3時半の出発である。天気は今にも雨が降りそうな曇り空模様でした。三条より高速で松本へ国道158号を安房峠、新中の湯登山口8時30分着、長野の天気は新潟よりも良く、うす曇りである。山の木々の葉が日々色を増し、山肌が秋色に変わり素晴らしい焼岳。登山開始(8:45)樹林帯の中、落ち葉を踏みしめながら登る、30分ほど行くとオオヒラビソ、コマツガなど針葉樹が混じり黄赤緑色になり、また陽も射し始め見事な紅葉を見せる。突然道はナナカマド群生地に入り赤一色になり感激する。やがて、下堀沢出合(10:40)この辺より森林限界となり草紅葉となり山頂が望める。また、噴煙も見える。露岩に付けられたペンキ



焼岳の紅葉



焼岳

印に従い草原の中を登り稜線にでる。南峰への分岐点でもある南峰(11:30)は禁止区になっている登頂経験者の2人を残し3人でゴウゴウと音を上げる噴煙の脇を巻きながら北峰山頂へ立つ(11:50)。乗鞍、穂高など展望も良かった。山頂は裸岩であり7～8名の人が出た。昼食は八合目付近の草原で摂り同じ道を下山、登山口(15:50)へ着く。

今日の宿泊先は乗鞍高原山栄荘へは1時間ほどである。上高地ゲート前を過ぎると営業車が急に増えてくる。溪筋の山肌からは湯煙が数箇所上がっている。何処からでも温泉が湧きだしているように見え、また紅葉に日が当たり五色に輝き、人々を楽しませてくれる。道は右折禁止のためトンネルを抜けたところでUターンして乗鞍高原へ入る。高原中腹にある宿、山栄荘に着く(17:15)。乳白色温泉が素晴らしい。山菜きのご料理をいただき明日へ。



乗鞍岳

11日(月)朝6時窓越しに空を見る。青空が見えるいい天気だ。みんな歓声が上がる。朝湯と朝食の後、7時30分宿を出発、乗鞍高原バス駅は大混雑であった。話し合いの結果タクシーで行く、私は他のグループと相乗りして先に行き、畳平で待つ。乗鞍神社本宮に参拝し30分位あと皆んなと合流する。後続着(10:10)天気は快晴である。登山開始(10:20)広い道をルンルン気分でコロナ観測所のある摩利支天岳2,872mへ登る(11:05)。15年前ここより南斜面を下り、肩の小屋へ行けたのに、今は廃道となっていた。その上で休息。足元の畳平を眺め、また他の山々を望んだ。その後、同じ道を下り、同山を巻き、肩の小屋へ行く(11:50)。大勢の人でゴッタガエス中、山肌むき出しの道を登ること約1時間、山頂へ(13:10)、神社参拝。昼食。穂高笠ヶ岳をはじめ360度の展望が素晴らしかった。山頂発(13:50)畳平着(15:20)タクシーで高原駅へ標高2,600m以上の紅葉は先日の寒波で終わった。これが最後だと運転手は言っていた。とても素晴らしい天気でした。ご苦労さまでした。

(終わり)